新入学児童にもたせたい
最低学力10か条

新潟市教育研究協議会長 樋浦辰治先生に聞く
（関屋小学校長）

長かった冬も終わり、日ごとに春の気配が強くなっていますが、春といえば、新入学のお子さんをお持ちの方は、何かとご心配のことと思います。

そこで、新潟市小学校教育研究協議会長である樋浦辰治さんから就学前児童にもたせたい最低学力や入学までに指導しておきたいことを、教えていただきました。

最低学力10か条

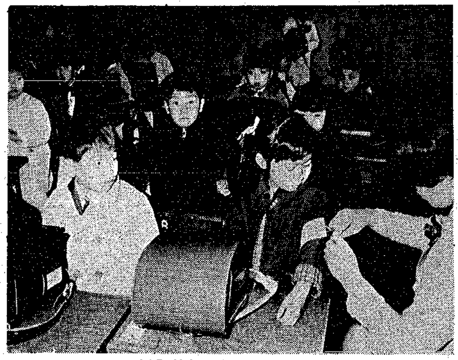
1. **日常会話が普通に話せる。**
・ボッケ・オツム・アンヨなどの幼児語や、下品な言葉を使わないように。
・「はい」「いいえ」などの応答ができるように。
・「おはよう」「さよなら」「ごめんね」「ありがとう」などの挨拶ができるなど。

2. **自分の氏名・父母の氏名や住所が言える。**
・住所は、手紙を出すわけでないから、お〃よその町名が言えるか、「関屋ハイツの三階」程度でもよい。

3. **自分の氏名のひらがなが読める。**
・靴棚・雨具掛・机、みんな名札がはってあります。場所を間違えては困ります。

4. **できれば、自分の名前をひらがなで書けるように。**
・筆順をなおすのは大変です。正しい筆順で教えましょう。

5. **持物の区別や整理ができる。**
・自分で自分のことが始末できないと、受持教師は大変です。
・自他の品物の区別はもち論、公私の区別もできれば、これにこしたことはありません。



新入学も、もうまぢか

6. **実物を10まで数える。**
・数詞を暗誦するだけでは、数えたことにはなりません。

7. **鋏で紙を切ることができる。**
・大きな紙をまっすぐに切るのはむつかしい。小さな紙をチョンチョンと切れれば、それで結構。

8. **直線や曲線、○・□・△などがかける。**
・これもあまり程度を高く考えては困ります。幾何学の初歩ではないのです。図画工作はもち論、遊びにさえも必要な能力なんです。

9. **絵を自由に、のびのびと描くことができる。**
・これもそうです。結果よりも過程。過程よりも描く意欲を育てるように留意しましょう。

10. **前・うしろ・左・右がわかる。**
・集団生活では、このことがどうしても必要です。
・近頃は左ききをなおさないという主張もあって「箸を持つ方の手」式の教師の指示も通じにくくなりました。

入学前に指導したいこと

1. **身体の疾患で、なおせるものは、なおしておく。**

2. **学校への、いきがえりの道順や、特に気をつけなければならない場所をわがらせる。**
・「ここでは、信号が青になってから、わたるんだよ」と、その場所で、具体的に教えてください。
・できたら、登校時刻・下校時刻を見はからって、おけいこしてください。時刻によって道のようすは、ぜんぜん違うんです。

3. **学校生活への楽しい期待感をふくらます。**
・「どうして言うことを聞かないの！先生に言いつけるから」なんてのは、口がさけても言わないで下さい。
・「ホレごらん。学校の屋上に校章旗があがっているよ。キレイダネェ」「今日、一年生が学校のグランドで雪合戦していたよ。楽しそうだった」などと話しかけて下さい。

大切に物を使って明るいくらし

盛会だった 社会教育を進める市民の集い

活動への意欲も新たに
市民約五百人が参加

さる三月二日、社会教育活動の輪を広げようと「新潟市の社会教育をすすめる市民のつどい」が、新潟市公会堂で行なわれました。

今まで、公民館を中心とした社会教育活動に参加したことのある人、この大会に参加してみるまで社会教育がどういうものか知らなかった人など、老若男女とりまぜて、約五百人ほど参加しました。

市の方から、社会教育活動や施設の現況について説明があった後それぞれの活動グループが、日頃の活動風景を、スライドや実演をまじえて紹介しました。

ママさんコーラスの合唱あり、ギター演奏あり、あるいは少年団のキャンドルサービスあり、六階節の踊りありと、趣向がこらされ和やかで、楽しい大会でした。

今年は、市側が主催して行なうという形をとりましたが、来年からは、社会教育団体の自主的な催しにしたい考えです。

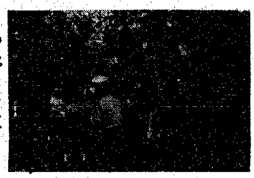
この大会では、様々な社会教育活動が紹介されましたが、この紙面でも、新潟市の社会教育を簡単に紹介します。

社会教育は、もっとも広く考えれば、学校で行なわれている教育以外の教育的な活動は、すべてさすことになります。

新潟市では、そのうち、青少年を対象とした教育、老人や婦人を含めた大人を対象としたもの、また、芸術・文化活動にとくに力を入れています。

社会教育機関としては、公民館図書館、郷土資料館、青少年補導センターがあります。

〔青少年教育〕 子どもたちに集団生活を教える子ども会やそのリーダー育成。また、勤労青年を対象としては、仲間づくりを進めています。



わんぱくランド

〔成人教育〕 婦人学級・家庭教育学級・老人学級・ボランティア講座などのリーダー養成と研修。また各種大会や団体運営への助成などがあります。

〔芸術・文化活動〕 音楽会・美術展・芸能まつりなどで、市民に文化活動発表の場を提供したり、また、N響を呼ぶなど、優れた芸術鑑賞の場を設けています。

〔公民館〕 中央公民館と十七の分館があります。公民館を舞台に市民としての教養を高めるための活動・仕事や生活に役立つ学習。また文化活動などが行なわれています。

中央公民館は西堀六 ☎28—一〇〇〇番、23—七〇七〇番(直通)

〔図書館〕 読みたい本が無料で借りられる図書館。貸し出しや閲覧だけでなく、親子読書会などの活動も行なっています。

沼垂図書館は蒲原七—一 ☎41—四一一一番、舟江図書館は稲荷町三四九〇〜三 ☎23—三三三五番、山ノ下閲覧所は古川町十一 ☎73—〇三三五番です。

〔青少年補導センター〕 〃子どもたちに愛の呼びかけを〃を合言葉に、子どもたちの非行化防止の活動や教育相談をやっています。

センターは中央公民館内にあります。

〔郷土資料館〕 旧税関を復元改装した資料館。港湾関係の資料を中心に、ふるさと新潟を知る貴重な資料が展示されています。

郷土資料館は緑町三四三七—八 ☎28—三三五九番です。

公民館

親子読書会

郷土資料館

×　×　×

前回号で募集しました、ガールスカウト新潟第八団の連絡先は、あさひ幼稚園 ☎22—九一八六番に変更になりました。

婦人リーダー講習

ママさんコーラス

熱のはいった討論
青少年補導問題研究大会

先月二十三日に、中央公民館を会場として、青少年補導問題研究大会が開かれました。

大会の出席者は、小中高校の先生や親、補導関係者など、二百数十人。予定した人数を大幅にこえ初めは、四つの予定だった分科会を五つに変更しなければならなかったような盛況でした。

大会は、分科会と全体会からなり、三時間以上にわたって熱気あふれる討論が繰りひろげられました。

盛況だった研究大会

分科会は、子どもの行動理解と指導のあり方（小・中・高に分けて三つ）よりよい教育相談のあり方、青少年育成のための地域活動のすすめ方の五つに分かれて行なわれ、その討論をふまえて、全体会では「新潟の子どもたちの将来を考える」と題してパネルディスカッションが行なわれました。

子どもの遊びや友達の問題、非行化や性の問題など、親にとって教師にとって、身近かで切実な問題が出され、討論は熱のこもったものになりました。激しく揺れ動く現代で親自身が、とまどいを感じているのか、専門家の助言を聞く目も真剣でした。

そして、青少年の健全な成長のためには、家庭・地域・学校を結んだコミュニティづくりなどの大切さが指摘されました。

新潟市高等職業訓練校
生　徒　募　集

▶**入校資格**
①訓練職種の事業所に4月までに就職する人または現在就職している人（養成訓練）
②満22歳以上で実務経験者（向上訓練）

▶**特典**　各種2級技能検定の学科が免除

▶**申し込み**　3月31日までに、新潟市高等職業訓練校（鐙字南沢 514 ☎44〜4902番）

訓練科目、訓練期間と定員数

養成訓練

科目	訓練期間	定員	入校時期
建築科	3カ年	50人	5月
建築板金科	3カ年	20	5月
建築塗装科	3カ年	20	5月
電気工事科	2カ年	50	5月
機械科	2カ年	20	5月
洋服科	3カ年	20	5月

向上訓練

科目	訓練期間	定員	入校時期
建築製図科	1カ年	50人	5月
高圧工事科	7カ月	30	4月
2級技能士板金科	6カ月	20	5月
〃 機械科	6カ月	20	5月
〃機械仕上げ科	6カ月	20	5月
〃 塗装科	6カ月	20	5月
〃 洋服科	6カ月	20	5月

はかりの定期検査

検査場	検査期日	検査実施の区域
入船小学校	3月25日	忠蔵町、窪田町1〜7ノ丁、室町1、2丁目、雲雀町、西船見町、山田町1、2丁目、船見町1、2丁目、海辺町1、2番町、入船町通4〜6丁目、早川町1〜3丁目、東入船町、柳島町3、4丁目
	3月26日	附船町1〜3丁目、赤坂町1〜3丁目
	3月27日	入船町通1〜3丁目、元下島町、艀川岸町、稲荷町、田町1〜3丁目、横七番町通4、5丁目
礎小学校	3月28日	川端町6丁目、下大川前通1〜7ノ丁、礎町通上1ノ丁、礎町通1、2ノ丁
	3月29日	礎町通3〜6ノ丁、新島町通1〜5ノ丁、花町、月町、雪町

検査受付時間　午前9時から午後3時まで。
※はかりは水平にして使いましょう。

初級ロシア語講座

期間　4月9日(火)〜6月25日(火) 毎週火・金曜日 午後6時〜8時
会場　福祉センター7階(新潟駅前)
受講料　全期間 5,000円（ただし、日ソ協会々員は 4,500円）
テキスト代　1,000円
申込方法　日ソ協会新潟支部（西堀前通り3 ☎22—7870番）に氏名年齢、性別、現住所、勤め先（学生の場合、学校名、学部学生）を記入し、受講料、テキスト代を同封し、送金されるか、直接申し込みください
受付期間　3月25日〜4月6日（日曜祭日除く）正午〜午後6時
ただし定員でしめきります。